

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 6 月 9 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

引き続き計算値の出し方についてご説明します。

4613 関西ペイントの週足チャートをご覧ください。2001年4月高値385円から2002年2月安値246円までの下げ幅139円を、今回の相場の出発点である2002年10月安値262円に足した、401円が重要な計算値と考えられます。

もしかしたら値幅の取り方に対して、「おやっ？」と思われた方がいらっしゃるかも知れません。

前回(6月2日号)のレポートでは、**以前の上げ相場における上げ幅を今回の上げ相場に当てはめています**。しかし今回は、**以前の下げ相場における下げ幅を今回の上げ相場に当てはめている**わけです……。

上げ幅と下げ幅の違いこそあれ重要な値幅であることに変わりはないという考え方なのです。こうした理論を背反値(はいはんち)といいます。

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 質問メールは dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、無料テレフォンサービスの「人気株情報」03-3669-5552で放送中、是非お聞きください。

《関西ペイント》週足

関西ペイント (4613)東証1部 2000/06/12 ~ 2003/06/02 7320(1000)株 368,394,362,391



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。